教養研究センター基盤研究「教養研究」シンポジウム no.1

明治・大正の学生文化から戦後の「大衆教養主義」まで
〝教養〟は近代日本に何をもたらし、何をもたらさなかったのか

日本の近現代を〝教養〟から考える

挨拶　13:00〜13:10
小菅 隼人（教養研究センター所長・慶應義塾大学理工学部教授）

講演1　13:10〜14:10
『近現代日本の教養を見る視座』
筒井 清忠 氏（帝京大学文学部教授（文学部長）・東京財団上席研究員）

講演 2　14:20〜15:20
『知者の教養と治者の教養』
竹内 洋 氏（京都大学名誉教授・関西大学名誉教授・関西大学東京センター長）

鼎談　15:30〜16:30
『日本の近現代を“教養”から考える』
竹内 氏／筒井 氏
片山 杜秀 コーディネーター・司会（教養研究センター副所長・慶應義塾大学法学部教授）

2017年10月28日(土) 13:00〜16:30 (12:30 開場)
日吉キャンパス独立館 DB 201番教室 (日吉駅徒歩2分)
対象 教職員・学生・一般　　参加費無料・申込不要

＊天災・交通事情など予期せぬ事態により変更・中止となる場合は、
上記 web サイトでお知らせしますので、事前にご確認下さい。

045-566-1151(直通) 内線 33001・33016
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp
http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/

主催：慶應義塾大学教養研究センター